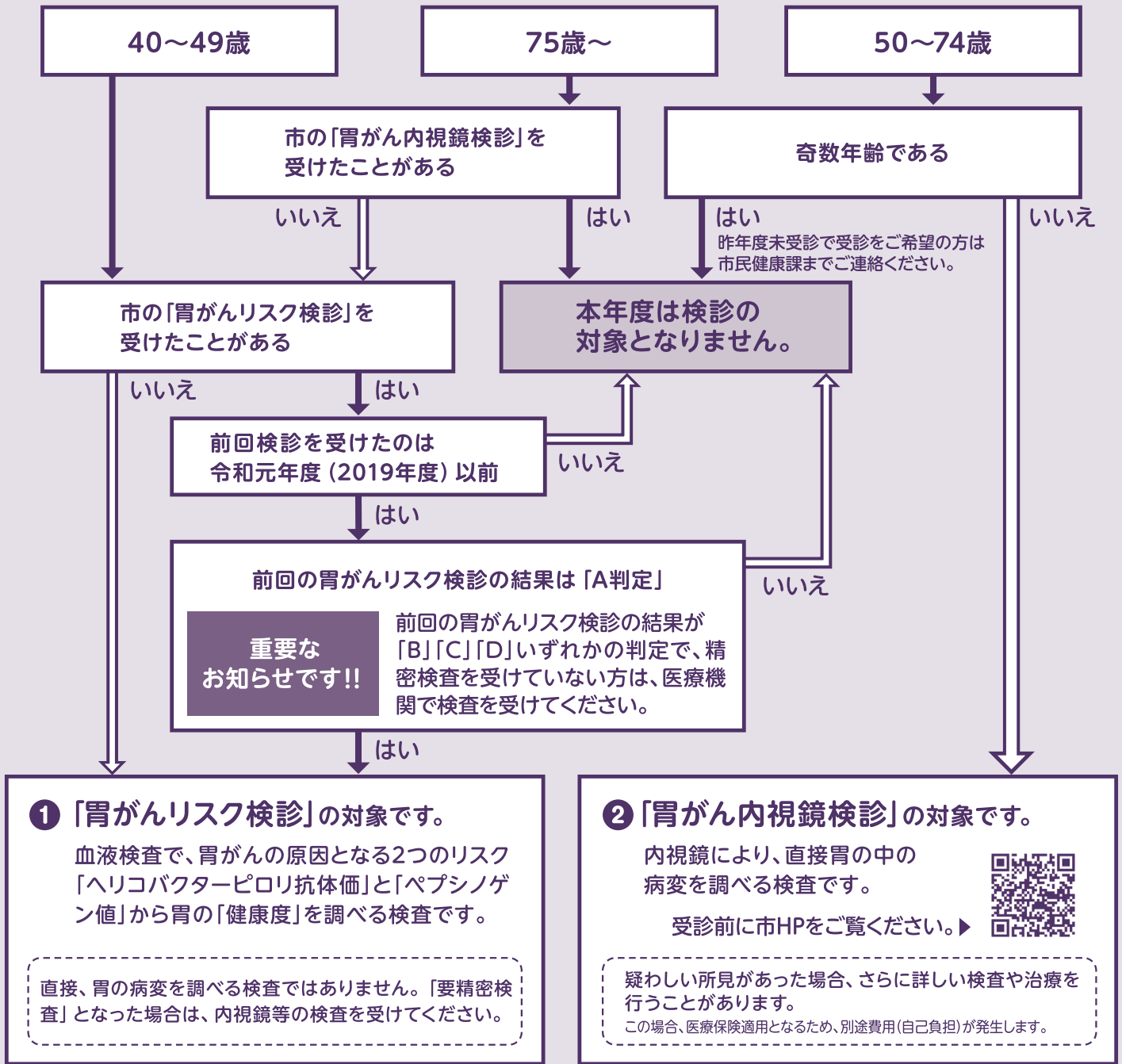


# 胃がん検診は、年齢によって検診方法が異なります フローチャートでご確認ください。

胃がんリスク検診は令和6年度までで終了する予定です。今年度対象の方は、この機会に受診をご検討ください。

check!

令和7年(2025年)3月31日時点の年齢は？



## ① 「胃がんリスク検診」の対象です。

血液検査で、胃がんの原因となる2つのリスク「ヘリコバクターピロリ抗体価」と「ペプシノゲン値」から胃の「健康度」を調べる検査です。

直接、胃の病変を調べる検査ではありません。「要精密検査」となった場合は、内視鏡等の検査を受けてください。

## ② 「胃がん内視鏡検診」の対象です。

内視鏡により、直接胃の中の病変を調べる検査です。

受診前に市HPをご覧ください。▶



疑わしい所見があった場合、さらに詳しい検査や治療を行うことがあります。

この場合、医療保険適用となるため、別途費用(自己負担)が発生します。

【注意事項】胃がんリスク検診を受ける方は事前に医療機関で検診の必要性を確認してください。

これまでに、食道・胃・十二指腸の病気(ピロリ菌除菌を含む)で、治療を受けたことがある方

定期的に内視鏡検査などの胃の検査を受けている方

胃の手術をしたことがある方

その他、治療中の病気がある方

★ 胃がんリスク検診は、ヘリコバクターピロリ菌の感染の有無と胃内壁の状況から、胃がんにかかる「リスク」を推測する血液検査です。(1)原則的に「一生に一回」で良いとされています。(2)これまでに市の胃がん内視鏡検診または胃がんリスク検診の精密検査を受けた方は、直接胃の内壁の状況を確認されています。このため、胃がんリスク検診で改めてリスクを推測する必要はないことから、胃がんリスク検診は対象外となります。

